

コロナ禍に立ち向かい、日本のデジタル化を一層促進しよう

令和2年6月25日

一般社団法人 日本 IT 団体連盟

理事一同

我が国では、2000年頃より、世界的なIT革命の渦によって、e-Japan, u-Japanなどの政策により内発的にITによる社会変革を試みてきましたが、大災害の影響などもあって、ほとんどが成功しませんでした。20年を経て今度は「新型コロナウイルス」という世界的災厄により、外発的に、社会構造の大きな変革を行わざると得なくなっていると言えます。世界の先進国の中で、日本が落伍してしまうことを食い止める最後のチャンスであるとも言えるでしょう。

今やITは人類社会の全ての分野と密接にかかわっており、IT無くして人類社会は成立しないところまで来ています。しかしながらその一方で、既に可能ならしめるITがあるにもかかわらず、法制度や無意識の慣習などの社会の側が技術革新に十全に対応できていないどころか、大きな障壁となっている事例も散見されます。今こそ、私たちが無意識のうちに当然の前提のように考えていた社会の仕組みを新しい眼で再検証し、さまざまな障壁の解消に挑むことが求められているのではないのでしょうか？

加えて、ITの恩恵を受けるためには、情報セキュリティの確保が不可欠です。政府、国民がそのリスクを正しく認識し、今以上の対応を行う必要もあるでしょう。

等しく国民皆で進化発展し、昨日よりも今日よりも、より良い明日を実現することを衷心より願いながら、私たち日本IT団体連盟は、新しい政策を提言したく存じます。

1. コンピューターとネットワークによりエンパワーされた社会の高度化を一層進める
1. 技術の社会実装において必ず検証を行い、改善を継続する社会を目指す
1. 国民がITの恩恵を平等に受けることができるようデジタル・デバイドを解消する
1. 技術のみならず情報そのもののリテラシーを高め、技術を適切に活用する
1. 地方を創生し、日本全体で持続可能な社会を新たにつくる

2020年度初頭における政策提言の具体的目的と細目の提言一覧を以下に掲げます。

「with コロナ時代を見据えたデジタル化・オンライン化推進のための政策提言」

<https://itrenmei.jp/files/files20200515105528.pdf>

以 上